

Timmy

Program

Stopwatch
















ALGE
TIMING

- 目次 -

キーボードの説明	3
電源	3
スイッチのオン・オフ	4
記録紙	4
接続	5
動作モード S t o p w a t c h	6
2本目の設定	7
M e n uの説明	1 1
計測単位の設定	1 2
スタートN o . 処理方法の設定	1 3
フィニッシュN o . 処理方法の設定	1 4
無感知時間（感度）の設定	1 5
プリンター機能の設定	1 6
計測	
スタートナンバーのセット	1 7
フィニッシュナンバーのセット	1 8
スタートタイムの入れ替え	1 9
フィニッシュタイムの入れ替え	2 0
計測したタイムの削除（スタート・フィニッシュ）	2 1
リザルトの作成	2 2
T I M YセットとT E D	
スタート機器とT E D - T Xの接続	2 3
T I M YとT E D - R Xの接続	2 4

キーボード

-     ファンクションキー
状況に応じて様々な機能を持ちます。
-  START/ON キー
スイッチON及びマニュアルスタート。
-  STOP/OFF キー
スイッチOFF及びマニュアルストップ。
-  Printer キー
ペーパーの送り出しをします。
-  2nd キー
他のキーと同時に押して使用します。
-  Menu キー
メニュー画面を呼び出します。
-  CLEAR キー
計測結果をクリアします。
-  カーソルキー
メニュー画面内での移動に使用します。
-  緑OK キー
スタートNo. の確定。
-  赤OK キー
フィニッシュNo. の確定。

電源

Timyは内部電源及び外部電源を利用する事が出来ます。
内部電源には専用充電電池パックをご使用ください。
専用充電電池パックを充電するには付属のACアダプタを
接続してください。
外部電源は付属のACアダプタにより、100v電源が利用
出来ます。
又は別売りの12V用電源ケーブルを使い自動車又はオー
トバイ用バッテリーを利用する事が出来ます。

スイッチ

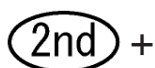
スイッチオン



- ・START/ON キーを押します
- ・画面に「Switch on ?」と表示されます。



- ・緑OKキーを押します。
- * 緑OKキーを押さずに約3秒が経過すると自動的にOFFとなります。



スイッチオフ

- ・2ndキーとSTOP/OFFキーを同時に押します。
- ・画面に「Switch off ?」と表示されます。
- ・赤OKキーを押します。電源が切れます。
- * 赤OKキーを押さずに約10秒が経過すると元の画面に戻ります。

記録紙

- ・記録紙はALGE 機器用専用サーモペーパーをご使用ください。
- ・ペーパーを交換する際は黄色のプリンタカバーの両側面(指が掛かりやすい様に3本のラインがあります。)を持ち、側面に表示されている矢印方向にカバーが回転する様にしてカバーを開きます。
- ・新しいペーパーをセットしたならばプリンタカバーのペーパー通しにペーパーの端を差込みカバーを閉じます。

接続

外部電源 - > T I M Y

- ・ A Cアダプタのプラグを T i m y 側面のジャックに接続します。



スタート信号 - > T I M Y

- ・ スタート側機器又は T E D - R X からのライン (バナナプラグ付き) を T i m y 側面のジャック (C 0 と) に接続します。
- バックアップタイマーとして使用する場合はグリップスイッチのバナナプラグを差し込みます。



ゴール信号 - > T I M Y

- ・ ゴール側機器又は T E D - R X からのライン (バナナプラグ付き) を T i m y 側面のジャック (C 1 と) に接続します。



T I M Y - > 表示ボード

- ・ バナナ付きケーブルを T i m y 側面のジャック (D - O U T と) に接続します。

T I M Y < - > コンピュータ

- ・ 専用ケーブル 205 - 05 の D - s u b 25 P i n コネクタを T i m y 側面のコネクタに接続します。






動作モード **S t o p w a t c h**

セットアップ

- ・スイッチの欄の方法でスイッチをオンにします。
- ・プログラム選択画面になります。(表示される内容は前回使用したプログラムにより異なります。)

```
SELECT PROGRAM
CYCLESTART
STOPWATCH
COMMANDER
PC-TIMER
```

- ・   を使い「STOPWATCH」が反転表示される様になります。

- ・ 緑  キーを押します。



```
TIMES :
04709 FREE
00000 SAVED
PRESS ANY KEY
```

- ・メモリ内容の表示画面になります。(表示される数値は前回の計測内容により変わります。)

- ・左の画面表示の場合はメモリに記録されたデータは0です。いずれかのキーを押します。

```
TIMES :
04574 FREE
00135 SAVED
CLR = CLEAR
OK = SAVE
```

- ・前回の計測メモリが記録されている場合はそのメモリ数が表示されると共に、クリアするかセーブするかの問合せも表示されます。


- ・データをクリアする場合は  を、そのまま残す場合は緑  キーを押します。



* 1本目を計測する場合は必ずデータをクリアします。

* 2本目の計測をする場合は  を押し、次ページの説明をご覧ください。



```
CYNC-TIME
10:15:32 HH:NN:SS
04-03-12 YY:MM:DD
OK CHANGE
```

時刻及び日付の設定

- ・表示されている時刻、日付で良い場合は  を押します。秒表示が00になると、計測画面が表示されます。

- ・変更する場合は  を押します。入力カーソルが時刻の先頭に移動するのでテンキーを使って変更します。変更後緑  キーを押すと日付の先頭にカーソルが移動します。

```
CYNC-TIME
10:15:32 HH:NN:SS
04-03-12 YY:MM:DD
WAIT ROR
SYNC IMPULSE
```

- 日付の変更後緑  キーを押すと画面表示が変わり、スタート信号を入力  力すると、タイマーが動き出し、計測モードとなります。


* スタート信号の入力又は、 を押すとタイマーが動き出します。

計測（2本目の設定）

T I M Y の STOPWATCH モードは、1本目、2本目合計の計測をする事が出来ます。

TIMES SAVED
PRESS ANNY KEY



「前ページからの続き」

メモリ内容をクリアしないで、 を押した場合は左の画面が表示されます。

再度  を押します。

SELECT HEAT
SAME
NEXT



 を押し、「NEXT」を反転表示にし、 を押します。

NEXT
STARTNUMBER
BIBO

「STARTNUMBER」か「BIBO」かを選択します。

スタートNo. のセットをマニュアル設定する場合はどちらを選択しても構いません。

「STARTNUMBER」を選択するとビブNo. 順にスタートNo. がセットされます。

「BIBO」を選択すると設定した順位でビボスタート順が設定されます。

「BIBO」を選択した場合左の画面が表示されます。

フリップする順位を入力します。(15位までを逆順にする場合は「0」「1」「5」と押します。順位設定を押し違えた場合はそのまま数値を入れ直します。

順位入力が終わったら  を押します。

BIBO
001

左の画面が表示されるので前ページの時刻設定以降の処理をします。

MENU内容

MAIN-MENU

CLASSMENT	(リザルト)
ALL	(全計測データ)
RUNTIME	(ランタイム)
TOTALTIME	(トータルタイム)
PRINT MEMORY	(未使用)
CLASS	(ビブNo. 範囲指定)
NR: 0	(?番~?番)

GENERAL

PREC-ROUNDING	(計測単位と四捨五入)
PRECISION	(計測単位)
1 S	
1/10	
1/100	
1/1000	(未対応)
1/10000	(未対応)
ROUND	(四捨五入の指定)
CUT	(計測単位以下を切り捨てて計算)
UP	(計測単位以下を切り上げて計算)
ROUND	(計測単位以下を四捨五入して計算)
CHANGE HEAT	(2本目を準備)
SAME	(2本目に進まずそのまま計測)
NEXT	(2本目を準備する)
STARTNUMBER	(ビブナンバーで準備)
BIBO	(1本目の成績に対しビボを採用して準備)
001	(フリップする順位を指定)
STN-AUTOMATIC	(ビブナンバーの指定)
START	(スタート側)
MANUALLY	(逐次入力)
UP	(自動アップ)
DOWN	(自動ダウン)
FINISH	(フィニッシュ側)
START	(スタートしたナンバーをセット)
FINISH	(フィニッシュ処理後次にスタートしたナンバーをセット)
AUTOMATIC-TIME	(未対応)

MENU内容(続き)

SEC-MODE	(秒表示 例 1分14秒93 - > 74.93)
NO	(秒表示オン)
YES	(秒表示オフ)
LANGUAGE	(表示言語)
GERMAN	(ドイツ語)
ENGLISH	(英語)
FRENCH	(フランス語 未対応)
ITALIAN	(イタリア語)
ALGE-STANDARD	(未対応)
HARDWARE	(未対応)
SOFTWARE-REG	(プログラム使用許諾ナンバーの登録)
CHANNELS	
INTERNAL	
DELAY START C0	(スタート側信号の無感時間)
00.00	
DELAY C1-C8	(フィニッシュ側信号の無感時間)
00.00	
BEEP	
OFF	(ビープ音オフ)
ON	(ビープ音オン)
DISPLAY	
RUNNING TENTH	(未対応)
DELAYTIME 1	(表示時間)
00	
INTERFACE	
DISPLAYBOARD	(未対応)
RS-232	
MODE	(出力データ内容)
OFF	(未対応)
STANDARD	(標準)
RUNTIME	(ランタイム)
RUNNING	(未対応)

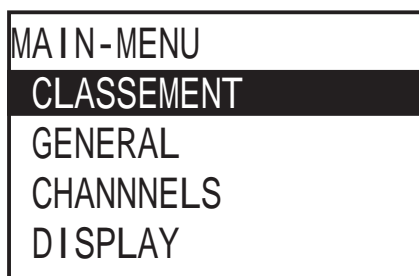
M E N U 内 容 (続 き)




BAUDRATE	(転送スピード)
2400	
4800	
9600	
19200	
38400	
SEND MEMORY	(メモリ内容の転送)
PRINTER	
PRINTER-MODUS	
PRINTER OFF	(プリンタオフ)
PRINTER ON	(プリンタオン)
PRINT STARTTIME	
PRI START OFF	(スタートタイムの印刷オフ)
PRI START ON	(スタートタイムの印刷オン)
AUTO LINE FEED	(印字後の空白行の送り出し行数)
0	
START-LOGO	
OFF	(起動時の A L G E マーク印刷オフ)
ON	(起動時の A L G E マーク印刷オン)
PROGRAMS	
PROG-CHANGE ??	(プログラムの変更)
KEYBOARD-LOCK	(キーボードのロック)

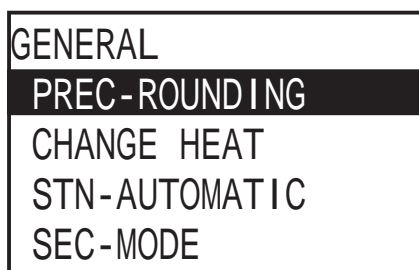
P R E S I S I O N (計測単位) の設定

計測する場合の小数点以下の桁数を指定します。

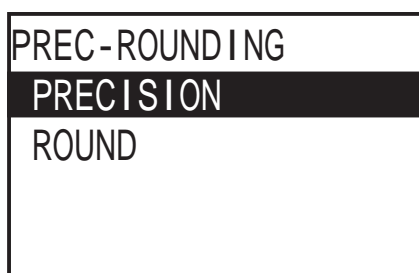
1 分の 1 秒、1 0 分の 1 秒、1 0 0 分の 1 秒が選択できます。



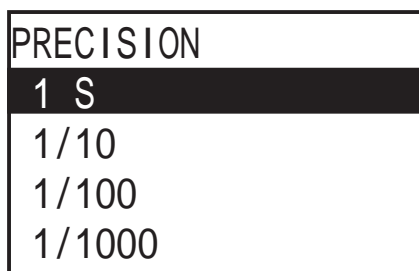
- ・  を押すと右の画面が表示されます。
- ・  を押し、「GENERAL」を反転表示にし、 を押します。






- ・ 右の画面が表示されます。続けて  を押します。



- ・ 右の画面が表示されます。続けて  を押します。



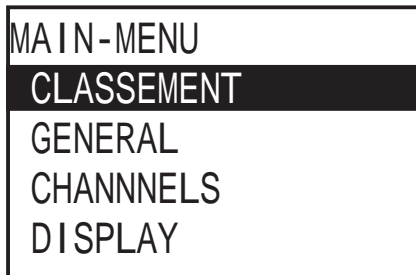
- ・   を使い、反転部分を選択したい単位の列に移動し、 を押し確定します。
- 設定されている側の左端に > マークが表示されます。




- ・ 設定が終了したならば、 を押し、計測状態に戻ります。

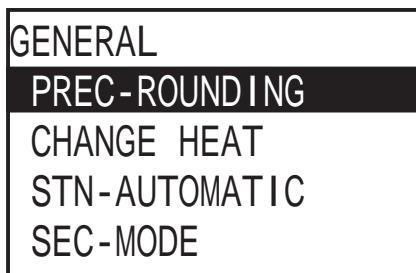
*表示には1000分の1秒、10000分の1秒が表示されますが、いずれを選択した場合でも計測は100分の1秒で行なわれます。

スタートNo. 処理の設定

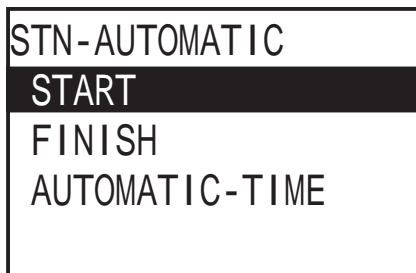
スタート信号入力後に自動的に次のナンバーをセットする機能があります。
この機能を使うか否かと、使う場合の使用法を設定します。



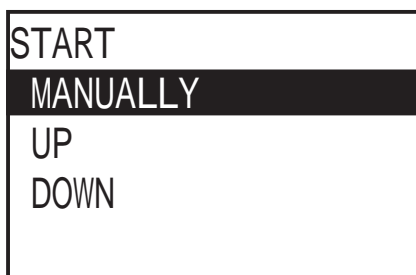
- ・  を押すと右の画面が表示されます。
- ・  を押し、「GENERAL」を反転表示にし、 を押します。






- ・ 右の画面が表示されます。 を2度押し、反転表示を「STN-AUTOMATIC」の部分にし、 を押します。



- ・ 右の画面が表示されます。続けて  を押します。



- ・ 右の画面が表示されます。
「MANUALLY」「UP」「DOWN」いずれかを   を使って選択し、続けて  を押し、確定します。
設定されている側の左端に > マークが表示されます。

- ・ 設定が終了したならば、 を押し、計測状態に戻ります。

* MANUALLY を選択するとスタート信号が入力した後もスタート側No. 表示欄のNo. は変わりません

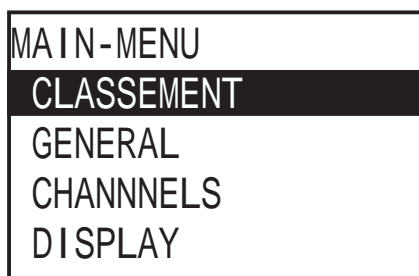
「UP」を選択すると、スタート信号が入力した後に自動的に次のスタートNo. がセットされます。




* 2本目の計測で、BIBOが指定されている場合はその順番に従ってNo. がセットされます。

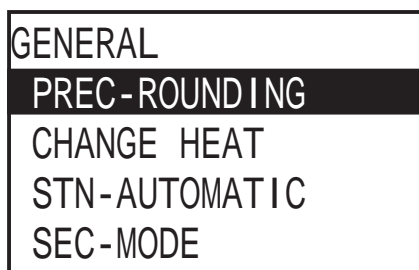
「DOWN」を選択するとスタート信号が入力した後に自動的に一つ前のスタートNo. がセットされます。

フィニッシュNo. 処理の設定

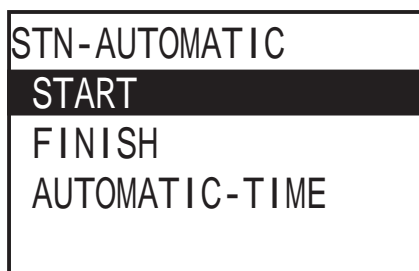
フィニッシュ信号入力後に自動的に次のナンバーをセットする機能があります。
この機能を使うか否かと、使う場合の使用法を設定します。



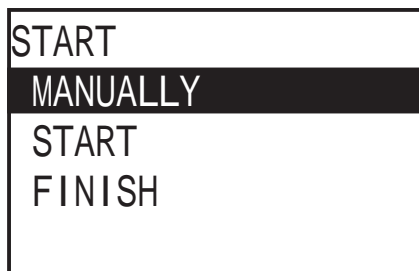
- ・  を押すと右の画面が表示されます。
- ・  を押し、「GENERAL」を反転表示にし、 を押します。






- ・ 右の画面が表示されます。 を押し、反転表示を「STN-AUTOMATIC」の部分にし、 を押します。



- ・ 右の画面が表示されます。 を押し、反転表示を「FINISH」の部分にし、 を押します。



- ・ 右の画面が表示されます。
「MANUALLY」「START」「FINISH」いずれかを   を使って選択し、続けて  を押し、確定します。
設定されている側の左端に > マークが表示されます。

- ・ 設定が終了したならば、 を押し、計測状態に戻ります。

* MANUALLY を選択するとフィニッシュ信号が入力した後もフィニッシュ側No. 表示欄のNo. は変わりません

「START」を選択すると、スタート信号が入力した後に自動的にそのNo. がフィニッシュ側No. 表示欄にセットされます。

「FINISH」を選択するとフィニッシュ信号が入力した後に自動的にそのNo. の次にスタートしたNo. がフィニッシュ側No. 表示欄にセットされます。

* 上記の機能は「Memo」モードでは機能しません。

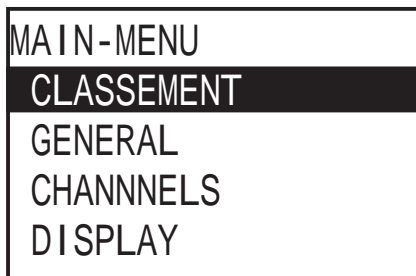
無感知時間（感度）の設定




A L G E タイミング機器はタイマー側の設定でスタート信号や、フィニッシュ信号の無感知時間（感度）の調整をすることが出来ます。

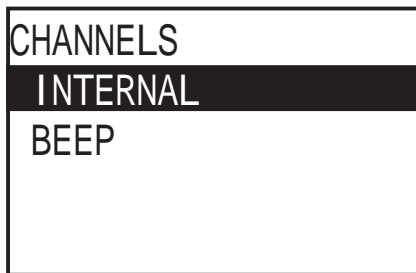
T i m y はスタート、フィニッシュ側共に無感知時間を 0 . 0 1 秒から 9 9 . 9 9 秒の範囲で設定することが出来ます。

スタート信号の無感知時間は 1 . 0 0 秒が推奨値です。フィニッシュ信号の無感知時間は 0 . 3 0 秒が推奨値です。スタート側信号の無感知時間を長く設定するとバーの反動等による複数の信号入力を防ぐ事が出来ます。

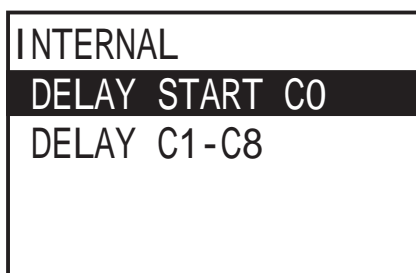
ゴール側信号の無感知時間を長くすると一人の選手による複数の信号入力を防ぐ事が出来ますが、長過ぎる場合は複数の選手が近接して通過した場合に一つの信号入力となる場合があります。





- ・  を押すと右の画面が表示されます。
- ・  を押し、「CHANNELNELS」を反転表示にし、 を押しまゝ。





- ・ 右の画面が表示されます。続けて  を押します。



- ・ 右の画面が表示されます。スタート信号の無感知時間の設定をする場合は、「DELAY START C0」が反転表示されている状態で  を押し、フィニッシュ信号の無感知時間の設定をする場合は「DELAY C1-C8」が反転表示されている状態で  を押します。






- ・ 「DELAY START C0」または「DELAY C1-C8」の変更画面が表示されるのでテンキーを使い数値を設定します。
- ・ 設定が終了したならば緑  キーを押します。
- ・ 設定が終了したならば、 を押し、計測状態に戻ります。

プリンター機能の設定

プリンターのON、OFFや印字後の空白行の送り出し行数を設定します。

MAIN-MENU
CLASSEMENT
GENERAL
CHANNNELS
DISPLAY



- ・  を押すと右の画面が表示されます。
- ・  を押し、「PRINTER」を反転表示にし、 を押します。

PRINTER
PRINTER-MODES
PRINT STARTTIME
AUTO LINE FEED
START-LOGO

プリンターのオン、オフ

- ・ 右の画面が表示されます。続けて  を押します。

PRINTER-MODE
PRINTER OFF
PRINTER ON


- ・ 右の画面が表示されます。「PRINTER OFF」を反転表示にし、 を押すとプリンター機能はオフに、「PRINTER ON」を反転表示にし、 を押すとプリンター機能はオンになります。

設定されている側の左端に > マークが表示されます。



- ・ 設定が終了したならば、 を押し、計測状態に戻ります。

PRINTER
PRINTER-MODES
PRINT STARTTIME
AUTO LINE FEED
START-LOGO

スタートタイムのプリント

- ・ 「PRINT STARTTIME」を反転表示にし、 を押すとスタートタイムを印字するか否かの選択画面が表示されます。

PRINTER STARTTIME
PRI START OFF
PRI START ON




- ・ 右の画面が表示されます。「PRINTER OFF」を反転表示にし、 を押すとプリンター機能はオフに「PRINTER ON」を反転表示にし、 を押すとプリンター機能はオンになります。

設定されている側の左端に > マークが表示されます。


- ・ 設定が終了したならば、 を押し、計測状態に戻ります。

印字後の空白行の送り出し行数


MAIN-MENU
CLASSEMENT
GENERAL
CHANNELS
DISPLAY

- ・  を押すと右の画面が表示されます。
- ・  を押し、「PRINTER」を反転表示にし、 を押しします。

PRINTER
PRINTER-MODES
PRINT STARTTIME
AUTO LINE FEED
START-LOGO

「AUTO LINE FEED」を反転表示にし、 を押すと送り出し行の設定画面になります。

AUTO LINE FEED
2

・右の画面が表示されます。2行目に表示される点滅する数値は送り出し行を表します。
設定する行数をテンキーから入力し、 を押すと送り出し行が設定されます。

・設定が終了したならば、 を押し、計測状態に戻ります。

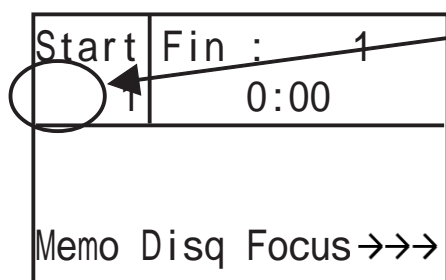
計測（スタートナンバーのセット）

アルゲタイマーは選手がスタートする前に必ずそのナンバーをタイミング機器にセットします。

Timy タイマーはスタート側ナンバーの自動呼出しの機能を使用する事が出来ます。

マニュアル入力又は自動呼出しいずれかを、ご使用方法を考慮し選択してご利用ください。

画面と基本操作



「スタートナンバーの自動呼出し又はマニュアル入力」

この部分がに 又は が表示されている場合スタート信号が入ると自動的に次のナンバー（注1）がセットされます。

何も表示されていない場合セットされているナンバーでスタート信号が入った後にuが表示されます。

uはスタート済みである事を表しており、どのモードであってもスタート済みのナンバーを呼び出した際に表示されます。

「スタートナンバーの入力」

・スタートナンバーを入力する場合はテンキーにてナンバーを入力後、緑 **OK** キーを押します。

スタートナンバーの自動呼出し、又はマニュアル入力を選択する方法は10ページを参照してください。

*注1

1本目の場合又は2本目にピボスタートを選択しなかった場合はスタートナンバーの自動呼出しはスタートナンバー順（ビブ順）となります。

2本目のスタート順をピボ方式を選択した場合その順番にて自動呼出しが行なわれます。

計測（フィニッシュナンバーのセット）

アルゲタイマーはビブナンバーをフィニッシュする前に入力する待ち受けとフィニッシュ後に入力する後指定の2通りの方法を利用する事が出来ます。

「フィニッシュナンバーの事前指定又は後指定」

通常の操作においては、フィニッシュナンバーの入力方法は後指定（メモモード）をお勧めします。

事前に入力する方式は表示ボードを接続し、フィニッシュする選手のランニングタイムを逐次表示する場合に利用します。

Start	MEMO :	0
12		0:00
Enter Copy Exit		

・左の画面の様に画面上段中央部分に「Memo」が表示されている状態がメモモードです。

「Memo」と表示されず「Fin」となっている場合は待ち受け入力モードですので **F0** を押し、メモモードに変更します。

Start	MEMO :	0
12		0:00
1 C1 10:03:25.03		
Enter Copy Exit		

フィニッシュ信号を受信すると画面中央に信号入力時点の時刻と受信信号の受信順に対して自動的に振り付けられたIDナンバーが表示されます。

テンキーにて当該のビブナンバーを入力し、**OK** を押して確定します。

*フィニッシュ信号が複数受信された場合には後から受信した時刻が順次下の段に追加されます。

Start	MEMO :	0
12		0:00
1 C1 10:03:25.03		
2 C1 10:03:26.67		
Enter Copy Exit		

不要な信号が入った場合は **CLR** を押すと削除されます。複数の信号入力があり、2番目以降の時刻を採用したい場合には **▲ ▼** を使い画面右端の「」を移動した後にナンバー指定を行なうとその時刻が採用されます。

*不要な時刻が残った場合は **CLR** を押して削除します。削除の場合も「」の付いている行が処理対象となります。

計測（スタートタイムの入れ替え）

あるNo. で処理したスタートタイムを別のNo. に当てはめる事が出来ます。
間違ったNo. でスタート処理をした場合等にも、そのタイムを正規のNo. に当てはめる事が出来ます。

Start	MEMO :	0
12		0:00
Start Finish RT →→→		

F3 を1回又は数回押して画面最下段に「Start Finish RT →→→」を表示します。

例としてNo. 11で処理した時刻をNo. 12に当てはめる処理をします。

Start	MEMO :	0
12		0:00
Edit Start Time		
StNo:		11
Enter		Exit

F0 を押し、右の画面が表示されたならば、続いて基になるタイムのNo. 11を入力し、**F0** を押します。

Start	MEMO :	0
12		0:00
11 C0 10:24:45.6700		
Enter Clear Copy Exit		

F2 を押します。

Start	MEMO :	0
12		0:00
Edit Start Time		
StNo:		12
Enter		Exit

当てはめる先のNo. 12を入力し、**F0** を押します。
No. 11で処理したタイムがNo. 12に設定されます。

Start	MEMO :	0
13		0:00
12 C0 10:24:45.6700		
Enter Clear Copy Exit		

スタートNo. が自動になっている場合はスタートNo. 欄に次のNo. が表示され、時刻表示欄に当てはめた先のNo. とタイムが表示されます。

引続き別のNo. にタイムを当てはめる場合は **F2** を押し作業を繰り返します。

処理を終了する場合は **F3** を押し修正モードを脱します。

* 修正モードから脱した場合、メモモードには戻りません。メモモードで計測の場合は画面最下段に「Memo」が表示されている状態で、**F0** を押しメモモードにします。

計測（フィニッシュタイムの入れ替え）

あるNo. で処理したフィニッシュタイムを別のNo. に当てはめる事が出来ます。間違ったNo. でフィニッシュ処理をした場合等にも、そのタイムを正規のNo. に当てはめる事が出来ます。

Start	MEMO :	0
12	0:00	
Start Finish RT →→→		

F3 を1回又は数回押して画面最下段に「Start Finish RT →→→」を表示します。

例としてNo. 11で処理したタイムをNo. 12に当てはめる処理をします。

Start	MEMO :	0
12	0:00	
Edit	Fin TIme	
StNo:	11	
Enter		Exit

F1 を押し、右の画面が表示されたならば、続いて基になるタイムのNo.、11を入力し、**F0** を押します。

Start	MEMO :	0
12	0:00	
11 C0 10:24:45.6700		
Enter Clear Copy Exit		

F2 を押します。

Start	MEMO :	0
12	0:00	
Edit	Start TIme	
StNo:	12	
Enter		Exit

当てはめる先のNo. 12を入力し、**F0** を押します。NO. 11で処理したタイムがNO. 12に設定されます。
*当てはめる先のNO. が既にフィニッシュ処理されている場合は当てはめが出来ません。該当するNo. のフィニッシュデータを先に削除してから処理してください。

Start	MEMO :	0
13	0:00	
12 C0 10:24:45.6700		
Enter Clear Copy Exit		

スタートNo. が自動になっている場合はスタートNo. 欄に次のNo. が表示され、タイム表示欄に当てはめた先のNo. とタイムが表示されます。

引続き別のNo. にタイムを当てはめる場合は**F2** を押し作業を繰り返します。

処理を終了する場合は**F3** を押し修正モードを脱します。

*修正モードから脱した場合、メモモードには戻りません。メモモードで計測の場合は画面最下段に「Memo」が表示されている状態で、**F0** を押しメモモードにします。

計測（処理したタイムの削除）

計測されたスタート信号や、フィニッシュ信号が必要無い時（再スタートや、選手以外のフィニッシュラインの通過信号など）はそのタイムの削除処理をします。

「スタートタイムの削除」

メモモードの場合は **F3** を押して待ち受けモードにします。

処理対象のタイムのスタートNo. をテンキーで入力し **OK** を押します。続いて **CLR** を押し、次に **OK** を押します。

CLR : 0	
u 12 0:00	
Memo Disq Focus →→→	

「フィニッシュタイムの削除」

メモモードの場合は **F3** を押して待ち受けモードにします。



処理対象のフィニッシュNo. をテンキーで入力し、**OK** を押します。続いて **CLR** を押し、次に **OK** を押します。

CLR : 11	
u 12 1:25.03	
Memo Disq Focus →→→	

「メモモードで計測したフィニッシュタイムの削除」

表示された計測タイムが一つの時はそのまま **CLR** を押します。



Start	MEMO : 0
12 10:03:25.03	
1 C1 10:03:25.03	
Enter	Copy Exit

表示された計測タイムが複数の場合は、  を使い削除したいタイムの右横に「」がある状態にした後に、**CLR** を押します。


Start	MEMO : 0
12 10:03:25.03	
1 C1 10:03:25.03	
2 C1 10:03:26.54	
Enter	Copy Exit

計測（リザルトの作成）




MAIN-MENU
CLASSEMENT
GENERAL
CHANNELS
DISPLYA

 を押し、メニュー画面を呼び出します。
続けて  を押します。

CLASSEMENT
ALL
CLASS

計測した総てのデータを対象にリザルトを出す場合はそのまま  を押します。



ALL
RUNTIME
TOTALTIME

1 本目の場合は「RUNTIME」のみが選択可能です。
2 本目の場合は2 本目（RUNTIME）か合計タイム（TOTALTIME）かを   を使って選択し、
 を押します。



リザルトが印刷されます。

* コンピュータにデータを転送する際も同様の処理をするとデータを送信する事が出来ます。（プリンター機能をオフにしておくデータ転送のみが行なわれます）


「CLASS」で選択する場合

ビブナンバーでの範囲指定をする場合は「CLASSEMENT」の画面で  を押し、「CLASS」を反転表示にした後  を押します。

CLASS
NR: 0

左画面が表示されるので範囲指定をする先頭のビブナンバーを入力後、 を押し、次に最後のナンバーを入力し、 を押します。

ALL
RUNTIME
TOTALTIME

「RUNTIME」か「TOTALTIME」かを選択し、 を押し、
すとリザルトが印刷されます。

TIMYセットとTED

「スタート機器とTED - TX送信機」(以降TX)の接続

スタート機器とTXとをバナナプラグ付きのケーブルで接続します。

この時スタート機器の黒ジャックとTXの黒マークの付いたジャックを、スタート機器の緑ジャックとTXの緑マークの付いたジャックとを接続します。



「TIMYとTED - RX受信機(以降RX)の接続」

TIMYにはバナナプラグを差し込むジャックが6つ、本体右サイドにあります。下段のジャックはアース(黒プラグを差し込む)となっています。

上段は右側からC1(フィニッシュ信号用)、C2(スタート信号用)、D-OUT(表示ボード用)となっています。

RXとTIMYをバナナプラグ付きのケーブルで接続します。

RXの黒マークの付いたジャックとTIMYのアースジャックを、RXの緑マークの付いたジャックとTIMYのC0とを接続します。



TIMYセットとTED

「TIMYと光電管の接続」

TIMYと光電管は次の2通りの方法で接続する事が出来ます。

1．バナナジャック付きケーブルで接続。

2．光電管用ケーブルで接続。

1の場合は光電管の黒ジャックとTIMYのアースジャックを、
光電管の赤ジャックとTIMYのC1ジャックとを接続します。

2の場合はそれぞれ専用のジャックを利用し接続します。



